

◎高速自動車国道を利用して通勤する場合

市町村立学校職員は、所属長の確認を受けてください。

所属コード 1111111
職員番号 1111111

届出の記載事項について確認した。
令和3年4月19日
〇〇市立〇〇小学校長 △△△△

校長の印

左上の余白に必ず記載してください。
所属コードは給与明細書に記載されています。

勤 届

令和3年4月19日提出

任命権者 北海道教育委員会		勤務先(勤務学校)名 〇〇市立〇〇小学校					
様		所在地 〇〇市△△町△丁目△番地					
職名 教諭	氏名 北海太郎						
住居 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地							
通勤手当に関する規則(北海道教育委員会規則第99号)等の規定に基づき通勤の支給を受ける場合は、通勤手当の支給されていない職員が転居した場合 →「新規」(異動による場合は「異動等に伴い通勤経路又は方法の変更の場合」も選択する)							
届出の理由(該当するにチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 新規(異動等に伴い) <input type="checkbox"/> 住居の変更 <input type="checkbox"/> 通勤経路又は方法の変更 <input type="checkbox"/> 運賃等の負担額の変更 <input type="checkbox"/> その他()		事実の発生日 令和3年4月1日					
順路	通勤方法の別	区 間	距離	所要時間	乗車券等の種類	左欄の乗車券等の額	備考
1口	自動車	住居から(経由)△△ICまで	4.1 km	6分		円	
2口	自動車(高速道路)	△△ICから(経由)□□ICまで	74.4 km	51分	ETCカード・普通車	1,050円	
3口	自動車	□□ICから(経由)学校まで	9.0 km	14分		円	
4口		から(経由)まで	km	分		円	
5口		から(経由)まで	km	分		円	
						総通勤距離	87.5km
						総所要時間	71分

住居から所属校までの経路を一般道区間及び高速道路区間をそれぞれ分け記載してください。

ETCカードを使用している場合
・自動車の種類(普通・軽の別)
・乗車券等の種類
・ETC利用料金(通勤割引の適用を受ける場合は割引後の利用料金)を記入してください。
(ただし、認定の算出の基礎はETCマイレージ割引を利用した場合の金額となります。)

事実発生日は、異動した場合及び住居移転した場合の記載例を参照してください。

【道職員給与と条例第11条第3項若しくは第4項、学校職員給与と条例第10条の2の4第3項若しくは第4項又は警察職員給与と条例第13条(特別急行列車等利用者)】
 1 異動等により高速自動車国道を利用しなければ通勤困難な場合、
 2 単身赴任になった職員
下欄についても記載してください。

※ 現勤所等への異動発令年月日等	令和3年4月1日	※ 異動前前の住居への入居年月日	平成22年4月2日				
※ 異動等の直前の住居	〇〇市〇〇町〇丁目〇番地	※ 現住居への入居年月日	平成22年4月2日				
特別急行列車等利用者の特別急行列車等を利用しないものとした場合の通勤の経路及び方法等							
順路	通勤方法の別	区 間	距離	所要時間	備考		
1	自動車(一般道)	住居から(経由)学校まで	95.4 km	110分			
2		から(経由)まで	km	分			
3		から(経由)まで	km	分			
4		から(経由)まで	km	分			
						総通勤距離	95.4km
						総所要時間	110分

添付書類
①「特別急行列車等を利用する実情について」
②「ETCカードの写し」、「ETC車載器セットアップ申込書・証明書の写し」等ETCの利用を証明する書類

◎通勤状況に変更があった場合

市町村立学校職員は、所属長の確認を受けてください。

所属コード 111111
職員番号 111111

届出の記載事項について確認した。
令和3年11月17日
〇〇市立〇〇小学校長 △△△△

校長の印

左上の余白に必ず記載してください。
所属コードは給与明細書に記載されています。

通 勤 届

令和3年11月17日提出

任命権者 北海道教育委員会	勤務先(勤務学校)名 〇〇市立〇〇小学校
様	所在地 〇〇市△△町△丁目△番地
職 名 教 諭	氏 名 北 海 太 郎
住 居	〇〇市〇〇町〇丁目〇番地

通勤手当に関する規則(北海道人事委員会規則7-284)第3条の規定に基づき確かな実情を届け出ます。

届出の理由(該当する□に印を付する)
 新規(異動等に伴う通勤経路又は方法の変更の場合)
 住居の変更
 通勤経路又は方法の変更
 運賃等の負担額の変更
 その他()

通勤方法を変更(自動車→自転車等)した場合は変更した日、新しい道ができた場合は新しい道が通れるようになった日、今まで通っていた道が通れなくなった場合は通れなくなった日

事実の発生年月日
令和3年11月6日

順路	通勤方法の別	区 間	距 離	所要時間	乗車券等の種類	左欄の乗車券等の額	備 考
1□	自動車	住居から(経由)学校まで	5.5 km	12分		円	
2□		から(経由)まで	. km	分		円	
3□		から(経由)まで	. km	分		円	
4□		から(経由)まで	. km	分		円	
5□		から(経由)まで	. km	分		円	

実際に通勤する経路の距離を記載してください。
(認定の算定の基礎となる距離は一般に利用し得る最短の経路の距離となりますので、届出の距離と一致しない場合があります。)

変更前から通勤手当を受給していた場合は、通勤手当の支給要件を具備した場合か、支給要件を欠いた場合かに関わらず提出が必要です。
なお、支給要件を欠いた場合は左上余白に「打切」と朱書きしてください。

記入上の注意

- 「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自動車、鉄道、市電、バス等の別を記入するとともに、特別急行列車等を利用する場合には、その利用区間を区分して記入する。
- 「乗車券等の種類」欄には、定期券(6箇月)10枚綴回数券等の別を記入する。
- 「左欄の乗車券等の額」欄には、定期券(6箇月)の価額、10枚綴回数券の額等乗車券等に応ずる額を記入する。
- 往路と帰路が異なる場合は、「備考」欄にその旨と理由を記入し、「備考」欄の余白に異なる部分を記入する。
- 通勤の実情の一部に変更がある場合は、変更内容に関係のない事項の記入を省略することができる。

総通勤距離 **5.5 km**
総所要時間 **12分**

【道職員給与と条例第11条第3項若しくは第4項、学校職員給与と条例第10条の2の4第3項若しくは第4項又は警察職員給与と条例第13条第3項若しくは第4項の規定の適用を受ける職員(特別急行列車等利用者)】
 1 異動等に伴い、通勤が困難になったことにより特別急行列車等を利用することとなった職員
 2 単身赴任手当を受給していた職員で、配偶者と同居し通勤が困難となったことにより特別急行列車等を利用することとなった職員

※ 現居同等への異動発令年月日等	年 月 日	※ 異動発令前の住居への入居年月日	年 月 日
※ 異動等の直前の住居		※ 現住居への入居年月日	年 月 日

特別急行列車等利用者の特別急行列車等を利用しないものとした場合の通勤の経路及び方法等

順路	通勤方法の別	区 間	距 離	所要時間	備 考
1		住居から(経由)まで	. km	分	
2		から(経由)まで	. km	分	
3		から(経由)まで	. km	分	
4		から(経由)まで	. km	分	
5		から(経由)まで	. km	分	
		から(経由)まで	. km	分	

記入上の注意

- ※欄は□1にし印を付した職員のみ記入する。
- 「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自動車、鉄道、市電、バス等の別を記入する。

総通勤距離 . km
総所要時間 分

◎他校に兼務する場合

市町村立学校職員は、所属長の確認を受けてください。

届出の記載事項について確認した。
令和3年11月6日
〇〇市立〇〇中学校長 〇〇〇〇 校長の印

届出の記載事項について確認した。
令和3年11月13日
〇〇市立××中学校長 〇〇〇〇 校長の印

所属コード 1111111
職員番号 1111111

届出の記載事項について確認した。
令和3年11月17日
〇〇市立〇〇中学校長 △△△△ 校長の印

左上の余白に必ず記載してください。
所属コードは給与明細書に記載されています。

通 勤 届

令和3年11月17日提出

任命権者 北海道教育委員会様	勤務先(勤務学校)名 〇〇市立〇〇中学校
	所在地 〇〇市△△町△丁目△番地
職 名 教 諭	氏 名 北 海 太 郎
住 居 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地	

通勤手当に関する規則(北海道人事委員会規則7-284)第3条の規定に基づき謹加の実情を届け出ます。

届出の理由(該当する□に印を付する) <input type="checkbox"/> 新規(異動時に伴う通勤経路又は方法の変更の場合) <input type="checkbox"/> 住居の変更 <input type="checkbox"/> 通勤経路又は方法の変更 <input type="checkbox"/> 通勤等の負担経路の変更 <input checked="" type="checkbox"/> その他(他校兼務の開始)	<input type="checkbox"/> 直前の届出の区間と同一の区間がある (該当する区間に係る隣接欄の□に印を付する。)
事実の発生日月 令和 3 年 11 月 6 日	

順路	通勤方法の別	区 間	距 離	所要時間	乗車券等の種類	左欄の乗車券等の額	備 考
1	自動車	住居から(経由)学校まで	9.6 km	23 分		円	〇〇中学校
2	自動車	住居から(経由)学校まで	17.8 km	36 分		円	××中学校
3	自動車	住居から(経由)学校まで	33.5 km	67 分		円	□□中学校
4		から(経由)	. km	分		円	
5			. km	分		円	

実際に通勤する経路の距離を記載してください。
(認定の算定の基礎となる距離は一般に利用し得る最短の経路の距離となりますので、届出の距離と一致しない場合があります。)

本務校及び兼務校すべての経路を記載してください。

記入上の注意

- 「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自動車、鉄道、市電、バス等の別を記入するとともに、特別急行列車等を利用する場合には、その利用区間を区分して記入する。
- 「乗車券等の種類」欄には、定期券(6箇月)、10枚綴回数券等の別を記入する。
- 「左欄の乗車券等の額」欄には、定期券(6箇月)の価額、10枚綴回数券の額等乗車券等に応ずる額を記入する。
- 往路と帰路異なる場合は、「備考」欄にその旨と理由を記入し、順路欄の余白に異なる部分を記入する。
- 通勤の実情の一部に変更がある場合は、変更内容に関係のない事項の記入を省略することができる。

総通勤距離 **60.9 km**
総所要時間 **126 分**

【道職員給与と条例第13条第3項若しくは第4項、学校職員給与と条例第10条の2の4第3項若しくは第4項又は警察職員給与と条例第13条第3項若しくは第4項の規定の適用を受ける職員(特別急行列車等利用者)】
 1 異動等に際して通勤が困難になったことにより特別急行列車等を利用することとなった職員
 2 単身赴任等により通勤が困難であった職員で、配偶者と同居し通勤が困難となったことにより特別急行列車等を利用することとなった職員

添付書類(道立学校)	添付書類
①兼務校から発出される兼職の依頼書	①兼務の予定がわかるもの(時間割・年間の予定表等)
②本務校から発出される兼職の承諾書	
③兼務の予定がわかるもの(時間割・年間の予定表等)	
1	. km 分
2	. km 分
3	から(経由)まで . km 分
4	から(経由)まで . km 分
5	から(経由)まで . km 分
	. km 分
記入上の注意	総通勤距離 . km
1 ※欄は□に印を付した職員のみ記入する。	総所要時間 分
2 「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自動車、鉄道、市電、バス等の別を記入する。	